

Ⅲ. 連結会計年度の開示事項

1. 自己資本の構成に関する開示事項 (単位:百万円、%)

項 目	令和4年度	令和5年度
コア資本に係る基礎項目		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	97,915	99,470
うち、出資金及び資本剰余金の額	27,935	27,809
うち、利益剰余金の額	70,293	71,956
うち、外部流出予定額 (△)	312	295
うち、上記以外に該当するものの額	△ 1	△ 0
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,660	1,640
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,660	1,640
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	108	—
コア資本に係る基礎項目の額	99,684	101,110
コア資本に係る調整項目		
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	506	458
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	506	458
繰延税金資産 (一時差異に係るものを除く。)の額	9	42
コア資本に係る調整項目の額	515	501
自己資本の額	99,168	100,609
リスク・アセット等		
信用リスク・アセットの額の合計額	916,949	938,424
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	980	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 1,425	—
うち、上記以外に該当するものの額	2,405	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	44,304	44,625
リスク・アセット等の額の合計額	961,253	983,049
連結自己資本比率	10.31	10.23

2.定量的な開示事項

(1)自己資本の充実度に関する事項 (単位:百万円)

	令和4年度		令和5年度	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ.信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	916,949	36,677	938,424	37,536
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	902,113	36,084	927,162	37,086
現金	—	—	—	—
我が国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—
外国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—
国際決済銀行等向け	—	—	—	—
我が国の地方公共団体向け	—	—	—	—
外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—
国際開発銀行向け	—	—	—	—
地方公共団体金融機構向け	585	23	586	23
我が国の政府関係機関向け	4,113	164	3,741	149
地方三公社向け	320	12	320	12
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	166,428	6,657	171,539	6,861
法人等向け	379,189	15,167	399,540	15,981
中小企業等向け及び個人向け	124,374	4,974	122,333	4,893
抵当権付住宅ローン	8,325	333	7,133	285
不動産取得等事業向け	86,633	3,465	89,162	3,566
三月以上延滞等	1,240	49	1,505	60
取立未済手形	123	4	289	11
信用保証協会等による保証付	21,257	850	15,725	629
株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	—	—	—	—
出資等	1,898	75	1,557	62
出資等のエクスポージャー	1,898	75	1,557	62
重要な出資のエクスポージャー	—	—	—	—
上記以外	107,622	4,304	113,727	4,549
他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通出資等及びその他外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	54,652	2,186	49,776	1,991
信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	11,285	451	18,553	742
特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	15,111	604	17,378	695
上記以外のエクスポージャー	—	—	—	—
②証券化エクスポージャー	998	39	1,462	58
③リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	12,823	512	9,792	391
「ルック・スルー方式」	12,823	512	9,792	391
④経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	2,405	96	—	—
⑤他の金融機関等の対象資本等調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△ 1,425	△ 57	—	—
⑥CVAリスク相当額を8%で除して得た額	34	1	6	0
⑦中央清算機関関連エクスポージャー	—	—	—	—
ロ.オペレーショナル・リスク相当額の合計を8%で除して得た額	44,304	1,772	44,625	1,785
ハ.連結総所要自己資本額(イ+ロ)	961,253	38,450	983,049	39,321

- (注) 1. 所要自己資本の額＝リスク・アセット×4%
2. 「エクスポージャー」とは、資産（派生商品取引によるものを除く）並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額のことです。
3. 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」から「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。
4. 当金庫は、基礎的手法によりオペレーショナル・リスクを算定しています。

＜オペレーショナル・リスク（基礎的手法）の算定方法＞

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 1.5\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$$

5. 連結総所要自己資本額＝連結自己資本比率の分母の額×4%

(2)信用リスクに関する事項(リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く)

イ. 信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の期末残高

＜業種別・残存期間別＞(単位:百万円)

業種区分 期間区分	エクスポージャー 区分		信用リスクエクスポージャー期末残高						三月以上延滞 エクスポージャー	
			貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフ・バランス取引		債券		デリバティブ取引			
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
製造業	407,006	395,274	338,069	324,570	68,921	70,702	14	0	353	338
農業	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—
林業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
漁業	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—
鉱業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	185,520	187,138	179,476	180,703	6,043	6,434	—	—	230	153
電気・ガス・熱供給・水道業	16,021	18,175	412	364	15,609	17,810	—	—	—	—
情報通信業	12,223	11,829	7,009	6,690	4,958	4,958	—	—	0	—
運輸業	77,445	77,086	61,935	59,369	15,509	17,716	—	—	6	9
卸売業、小売業	195,810	193,858	178,363	176,829	17,422	17,024	24	4	207	352
金融業、保険業	1,169,032	960,352	80,985	86,884	129,784	115,503	15	11	—	—
不動産業	238,540	244,986	220,652	226,396	17,887	18,589	—	—	220	274
各種サービス	141,073	144,382	138,243	141,552	2,829	2,829	—	—	126	151
国・地方公共団体等	206,690	198,356	65,463	60,831	140,600	137,265	—	—	—	—
個人	166,281	162,702	166,281	162,702	—	—	—	—	212	178
その他	73,643	76,407	—	—	1,018	886	—	—	—	—
業種別合計	2,889,291	2,670,549	1,436,896	1,426,897	420,587	409,722	53	16	1,357	1,458
1年以下	257,633	367,444	139,522	151,121	16,349	12,707	38	5		
1年超3年以下	407,968	259,273	98,234	92,986	26,854	39,047	1	0		
3年超5年以下	314,678	375,012	151,154	158,726	60,782	76,183	0	0		
5年超7年以下	284,557	467,290	176,086	323,611	78,463	86,173	7	5		
7年超10年以下	622,846	460,891	466,245	300,403	124,096	87,985	4	2		
10年超	520,601	510,050	403,592	398,114	100,007	94,934	2	1		
期間の定めのないもの	481,005	230,587	2,058	1,933	14,032	12,692	—	—		
残存期間別合計	2,889,291	2,670,549	1,436,896	1,426,897	420,587	409,722	53	16		

(注) 1. オフ・バランス取引は、デリバティブ取引を除く。
2. 「三月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上延滞している債務者に係るエクスポージャーのことです。
3. 上記の「その他」は、裏付となる個々の資産の全部又は一部を把握することや、業種区分に分類することが困難なエクスポージャーです。具体的には現金、固定資産等が含まれます。
4. CVAリスク、中央清算機関関連エクスポージャー、及びリスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーは含まれておりません。
5. 有価証券には、外国証券（円建て外債及びユーロ円債（令和4年度38,969百万円、令和5年度36,469百万円））が含まれています。
6. 債務保証には、外国子会社向けの保証（令和4年度263百万円、令和5年度349百万円）が含まれています。
※当金庫は国内の限定されたエリアにて業務活動を行っているため、「地域別」の区分は省略しております。

ロ. 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額

当開示項目は大阪シティ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(71ページ参照)

ハ. 業種別の個別貸倒引当金及び貸出金償却の額等

当開示項目は大阪シティ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(72ページ参照)

ニ. リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等(単位:百万円)

告示で定める リスク・ウェイト区分(%)	エクスポージャーの額			
	令和4年度		令和5年度	
	格付適用有り	格付適用無し	格付適用有り	格付適用無し
0%	10	1,018,637	1,411	790,580
10%	—	264,133	—	206,225
20%	34,343	774,531	133,957	725,144
35%	—	17,622	—	14,901
50%	123,425	26,224	127,128	25,116
75%	—	147,256	—	144,029
100%	6,767	435,799	3,500	456,482
150%	—	515	—	782
250%	—	40,022	—	41,289
小 計	164,547	2,724,743	265,997	2,404,552
合 計	2,889,291		2,670,549	

(注) 1. 格付は適格格付機関が付与しているものに限ります。
2. エクスポージャーは信用リスク削減手法適用後のリスク・ウェイトに区分しております。
3. コア資本に係る調整項目となったエクスポージャー（経過措置による不算入分を除く）、CVAリスク、中央清算機関関連エクスポージャー、及びリスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーは含まれておりません。

(3)信用リスク削減手法に関する事項

当開示項目は大阪シティ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(72ページ参照)

(4)派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

当開示項目は大阪シティ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(73ページ参照)

(5)証券化エクスポージャーに関する事項

イ. 連結グループがオリジネーターの場合

当開示項目は大阪シティ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(73ページ参照)

ロ. 連結グループが投資家の場合

当開示項目は大阪シティ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(74ページ参照)

(6)出資等エクスポージャーに関する事項

イ. 連結貸借対照表計上額及び時価

当開示項目は大阪シティ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(74ページ参照)

ロ. 出資等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

当開示項目は大阪シティ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(74ページ参照)

ハ. 連結貸借対照表で認識され、かつ、連結損益計算書で認識されない評価損益の額

当開示項目は大阪シティ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(74ページ参照)

ニ. 連結貸借対照表及び連結損益計算書で認識されない評価損益の額

該当する評価損益の額がありません。

(7)リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項

当開示項目は大阪シティ信用金庫単体と同じ数値であるため省略いたします(74ページ参照)

(8)銀行勘定における金利リスクに関する事項

①「銀行勘定の金利リスク」(IRRBB)(単位:百万円)

IRRBB1:金利リスク					
項番		イ	ロ	ハ	ニ
		ΔEVE		ΔNII	
		当期末	前期末	当期末	前期末
1	上方パラレルシフト	13,524	16,726	0	447
2	下方パラレルシフト	0	0	683	2
3	スティープ化	8,436	10,763		
4	フラット化				
5	短期金利上昇				
6	短期金利低下				
7	最大値	13,524	16,726	683	447
		ホ		ヘ	
		当期末		前期末	
8	自己資本の額	100,609		99,168	

②内部管理 (VaR)(単位:百万円)

	当期末	前期末
銀行勘定の金利リスク(連結)	9,150	12,880

(注) 1. 金利リスクの算定手法の概要等は「定性的な開示事項」の項目に記載しております。

2. 「内部管理 (VaR)」については、実績データに基づいて貸出および定期預金の期限前償還率を反映させています。